

国立公園満喫プロジェクト

明日の日本を支える観光ビジョン 平成28年3月30日

- **目標** 2000万人 → 4000万人（2020年）
- **国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化**
 - － 「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは5箇所の国立公園で、「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、訪日外国人を惹きつける取組を計画的、集中的に実施

国立公園満喫プロジェクト

- **目標** 2020年までに訪日外国人の国立公園利用者数を現在の約2倍の1000万人に！
- **基本的考え方**
 - ① 「最大の魅力は自然そのもの」をコンセプトに、非日常的な体験を世界の人々に提供
 - ② 最高の自然環境をツーリズムに開放し、**高品質・高付加価値のインバウンド市場**を創造

これまでの主な流れ

平成28年7月

先行的に取り組みを進める**8公園を選定**

検討の加速化

- 各知事等に省幹部が直接要請
- アトキンソン氏、石井氏等有識者の現地評価

関係省庁との連携

- 関係省庁の施策メニューの提示（ビジットジャパン、街並み整備、空屋対策、Wi-Fi環境整備など）
- 関係省庁の出先機関が地域協議会に参加

慶良間諸島国立公園

阿寒摩周国立公園

大山隠岐国立公園

十和田八幡平国立公園

阿蘇くじゅう国立公園

日光国立公園

霧島錦江湾国立公園

伊勢志摩国立公園

9月

地域協議会の立ち上げ

12月

ステップアッププログラム策定

- 国、県、市町村、民間事業者は、取組をそれぞれ実施。
- 進度に応じ、第2次補正予算の配分や29年度予算の配分を実施。
- 進捗状況に応じて、プログラムをグレードアップ。



8カ所の国立公園における成果を全国の国立公園に水平展開



新たな展開施策

質の高いホテル誘致

- 多様な階層に対応した宿泊施設を増やすため、特に上質なホテル等を誘致



公共施設の民間開放

- 利用者のニーズに合わせてビジターセンターや展望台等の公共施設の一部を民間に開放し、カフェ、ツアーデスク等を導入



受益者負担の仕組みの導入

- 利用が増えることで自然環境保全、施設の維持管理の充実が図れるよう、国立公園への入域料や利用者負担の仕組みを導入



景観の磨き上げ

- 廃屋化した施設など景観のマイナス要素を取り除くことでプラスに転じていく
- 電線地中化や町並み景観の改善とも連携



プロモーション展開イメージ

- 地域と連携して、コンテンツ磨き上げとプロモーション等を積極的に実施

第1弾 イメージ定着

目的 イメージの定着化
期待度向上

方法 魅力的な映像の発信
コンテンツ磨き上げを
目的にファムトリップ

第2弾 ツアー購入・誘客

目的 ツアーの購入
誘客

方法 ツアーコンテンツの拡充
具体的商品のプロモーション強化

関心度

